福井県支部

福井県における「健康・長寿」ビジネスの実態と課題及びその展望に関する調査研究

第1章 健康・長寿ビジネスを取り巻く状況

戦後（1947年）の日本人の平均寿命は男性 50.06 歳、女性 53.96 歳であった。それが、わずか数十年の間に平均寿命が飛躍的に延び、2004 年時点においては男性 78.64 歳、女性 85.59 歳と「人生 80 年」時代となった。その中で、人々の健康意識の進展はめざましく、そのための投資を惜しまない人も少なくない。

福井県でも「健康・長寿」ビジネスを支援するための、各種の取り組みを行っている。

第2章 健康・長寿ビジネス企業に対するヒアリング報告

実際に健康・長寿ビジネスに取り組んでいる県内企業 9 社を取り上げ、この章ではその実態を報告する。民間の次の業種の健康関連事業について、今回の健康・長寿ビジネスの研究対象とし、調査研究を行った。①食品関連分野（飲食料品販売、レストラン、農業など） ②フィットネスサービス（健康器具）関連 ③介護ビジネス ④衣料品販売 ⑤住宅関連商品

ヒアリング調査および報告の内容は、おおむね次の事項が含まれている。（1）事業を始めた動機 （2）製品開発から生産まで（情報、連携先など） （3）販売方法（顧客ターゲット、流通チャネル、販促法など） （4）苦労したこと （5）今後の展開の予定 （6）ヒアリング担当者の評価

第3章 ヒアリング企業の総括と主な市場分野

1. 第2章において、ヒアリング調査を行った企業の分析と総括を行った。
2. 健康ビジネスのなかで主要な地位を占めている健康食品についての説明。
3. 介護ビジネス市場についての説明。
4. 国際標準「ISO/IEC ガイド 71」の発行について。

第4章 健康・長寿ビジネス経営における配慮事項

1. 企業の社会的責任（CSR）についての説明。
2. 健康ビジネスに関する主な法律をあげて、その概要についての説明。
3. 健康ビジネスに多い違法行為とその例についての説明。
4. 健康・長寿社会に対する危惧と警鐘を説明。必ずしも、長寿が望ましいわけではない。

第5章 健康・長寿ビジネスの課題と提言、中小企業診断士の役割

1. 健康・長寿ビジネスの今後の需要に対しては、健康予防への取り組みの強化が重要である。
2. 健康・長寿ニーズに応えるための、企業体制の構築に関する提言。
3. 最近の健康・長寿に関するキーワードについての検証から、ビジネスチャンスへ。
4. ヒアリング企業以外の健康・長寿ビジネスのさまざまな事例の検証。

5. 中小企業診断士の役割。専門的なアドバイスに加え、さまざまな専門家とのコーディネーターとしての役割も求められる。